

オンライン・ミーティング
(zoom meeting)

紀伊國屋書店新宿本店 アカデミック・ラウンジよりオンライン配信

日時: 2023年10月21日(土) 14:00-15:30

高次脳機能障害支援をめぐる公開講座

鼎談「小川喜道 × 青木重陽 × 瀧澤学」

(神奈川工科大学名誉教授) (リハビリテーション医) (メディカル・ソーシャルワーカー)

“高次脳機能障害のリハ支援を語り合う”

「高次脳機能障害がある方へのグループ訓練(手引き)」(日本損害保険協会研究助成) 発刊の意図、そして『高次脳機能障害のための神経心理学的リハビリテーション～英国 Oliver Zangwill Centreでの取り組み～』(監訳代表青木, 医歯薬出版)に関連させ、これからの支援のありようへと議論をつなげます。

そして、高次脳機能障害支援法制定へのはずみがついている今日、専門職の役割と当事者との協働を探ります。

鼎談の顔ぶれ

□小川 喜道(おがわ よしみち)

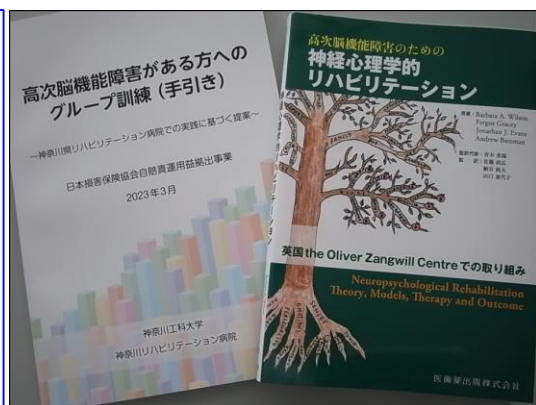
神奈川工科大学 名誉教授
地域連携・貢献センター長
日本リハビリテーション連携科学学会名誉会員

□青木 重陽(あおき しげはる)

神奈川リハビリテーション病院
日本リハビリテーション医学会専門医
日本脳神経外科学会専門医

□瀧澤学(たきざわ がく)

神奈川県リハビリテーション支援センター
高次脳機能障害相談支援コーディネーター
社会福祉士
日本高次脳機能障害友の会顧問



■左側の冊子: 鼎談の3名が加わって作成した、これまでの神奈川リハ病院での実践から地域に役立つプログラムのヒントを詰め込んだ手引き。

■右側の図書: 鼎談の青木リハ医は、1年間、英国の脳損傷リハ・オリバーザンウィルセンターに滞在しさまざまな経験をしてきたが、本専門書(医歯薬出版)は、そこでのグループセッションや症例を取り扱ったものであり、最終章で青木・監訳代表が日本のリハの状況を示している。

オンライン参加の申し込みは、下記のURL、またはQRコードよりお願い致します。
<https://forms.office.com/r/SfdVD3cjRC>



主催・お問い合わせ: 神奈川工科大学 地域連携・貢献センター
046-291-3153, ogawa@rm.kanagawa-it.ac.jp